

自転車の組み立て方

●このたびは当社の自転車をお買い上げいただき、誠に有難うございます。本書は大切に保管して頂き、必要に応じてご覧ください。

1. 組み立てに必要な工具

付属 工具



①6mm六角レンチ
(ハンドルポスト用)



②15mm スパナ
(ペダル用)

必要 工具



③カッターもしくはニッパー
(荷ほどき用)



④プラスドライバー
(ベル・リフレクター取付用)



②10mm スパナ
(前輪泥除け用)

2. 本体および付属品のチェック

自転車本体を箱から取り出して頂き、本体に損傷や変形がないかチェックしてください。

※付属品が足りない場合や、本体に損傷や変形があった場合はご連絡ください。

付属品

・ペダル R(右用) × 1 ・ペダル L(左用) × 1 ・後輪用ハブキャップ × 2 ・クイックリリースレバー × 1 ・仏式バルブ × 1 (装着済)
・5mm六角レンチ × 1 ・6mm六角レンチ × 1 ・スパナ 15mm × 1 ・取扱説明書 × 1

3. 前輪 (クイックリリース) とハンドルの取り付け

使用 工具



カッターもしくは
ニッパーなど

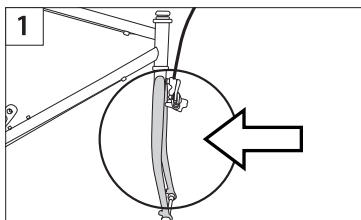
前輪とハンドルは、自転車本体にインシュロックで固定されていますので、カッター等でインシュロックを外してください。

警告

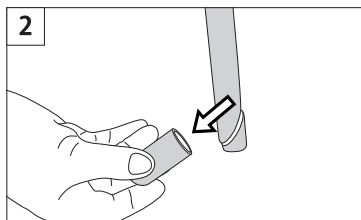
クイックリリースの取扱い方法を必ずご確認ください。

クイックリリースは工具を必要とせず、ワンタッチで車輪をはずせる便利な機構ですが、調整と締め付け力が適切でないと、走行中にホイールがゆるんだり外れたりし、重大な事故に繋がる恐れがあり非常に危険です。

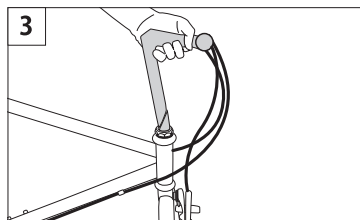
乗車前にはクイックリリースの構造と取扱い方を理解した上で、必ずきちんと取り付けされているか確認のうえに乗車ください。



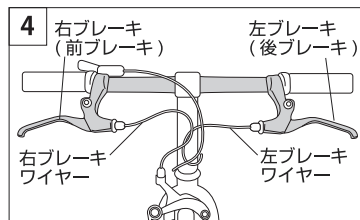
フロントフォークの向きにご注意ください。※ブレーキが前方です。裏面をご確認ください。



ハンドルの下部に付いているキャップ等は取り外してください。

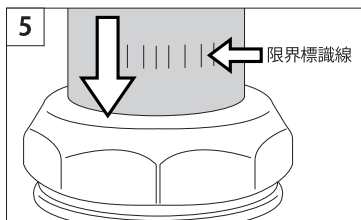


組立時にハンドルが当たって傷がつかないようにハンドルを仮止めします。

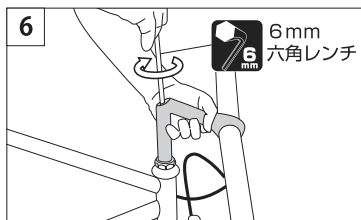


ハンドルポストを本体に差し込んだ際に右ブレーキワイヤーが左ブレーキワイヤーの前に来るように差し込んでください。

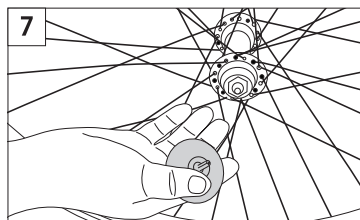
※差し込んだ時にワイヤーのねじれが無いようにご注意ください。



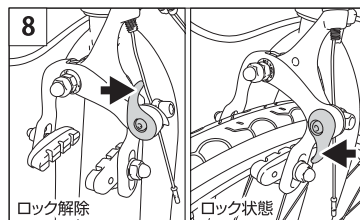
ハンドルは限界標識線が見えない位置まで差し込んでください。



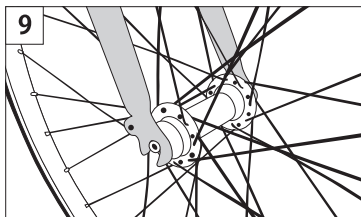
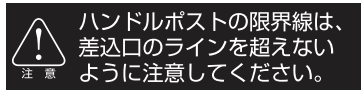
図の工具(付属の6mm六角レンチ)でハンドルを仮止めしてください。※ハンドルの形状はイラストと違う場合があります。



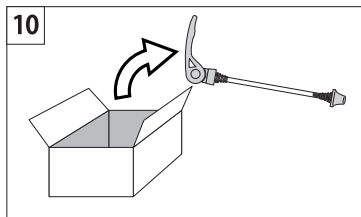
前車輪の樹脂キャップを取り外してください。キャップの芯の部分が中に残らないよう、引き抜くように外します。



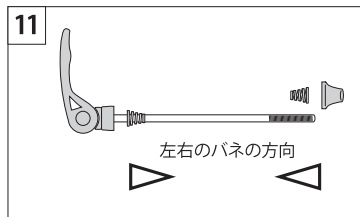
ブレーキのロックレバーを上げると、アーチが開くのでタイヤが通しやすくなります。(手順9の準備です)(手順13の後、必ずロック状態に戻してください)



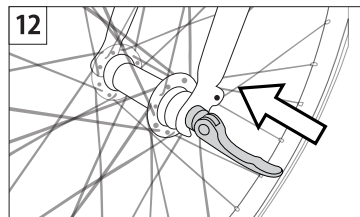
フロントフォークに車輪の軸部を引っ掛けるように載せてください。軸部の一番外側の部分のみが引っ掛かります。



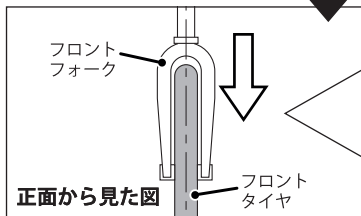
付属している小箱からクイックリリースレバーを取り出してください。



クイックリリースレバーの構成は図のようになっています。左右のバネの方向にご注意ください。



クイックリリースレバーを自転車の左側(自転車に向かって右側)から差し込んでください。(バネの方向に注意してください。)



タイヤを入れる時は、タイヤの中心とフロントフォークの中心が重なる様にセットしてください。

カムレバーはきつく締め付ける、右端(レバーと反対側)を手で固定して、レバーを時計回りの回すと締めこまれていきます。※カムレバーが最大の力で止められる程度の場所が望ましい。

この車種は、フロントフォークの向きを逆向きにして梱包しています。
フロントフォークが逆さまの向きですと、前輪を取り付けたときにフレームやペダルに接触する可能性があります大変危険です。
必ずフロントフォークを正常な向きに直してから、組立を始めてください。この時にブレーキを外す必要はございません。